

インターンシップと採用の関連に関するアンケート調査票（企業）

「インターンシップ」については、一般的には「生徒・学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」と定義され、教育実習、看護実習等資格取得を目的とするものは対象外とされていますが、本アンケート調査では、特に断りのない限り、教育実習、看護実習等資格取得を目的とするものも対象とし、「インターンシップ・実習」という用語を用います。

1. 「インターンシップ・実習」の実施状況（2011（平成23）年度）

はじめに、2011（平成23）年度中に貴社が学生を対象にした「インターンシップ・実習」の実施状況についておうかがいします。

1.1 貴社における「インターンシップ・実習」の対象

2011（平成23）年度中にどのような学校の学生を「インターンシップ・実習」として受け入れましたか。以下の選択肢の中から当てはまるものをすべて選択して下さい（複数回答可）。

- | | | |
|------------------------|-----------|-------------|
| 1 専門学校 | 2 短期大学 | 3 四年制大学（文系） |
| 4 四年制大学（理系） | 5 大学院（文系） | 6 大学院（理系） |
| 7 上記の学校からは受け入れていない →2へ | | |

1.2 受入人数

受け入れた人数は何人ですか。学校種ごとにその人数を選択して下さい。おおよその人数でかまいませんが、不明な場合は「不明」を選択して下さい。

- | | | | | | | | |
|------|-------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| 1~5人 | 6~10人 | 11~15人 | 16~20人 | 21~25人 | 26~30人 | 31人~ | 不明 |
|------|-------|--------|--------|--------|--------|------|----|

1.3 受入期間

1人当たりの受入期間はどの程度ですか。以下の選択肢の中から学校種ごとに一つだけ選択して下さい。複数ある場合は最も多い人数のものを一つだけ選択して下さい。

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1 1日 | 2 2~4日 | 3 1週間程度 | 4 2週間程度 |
| 5 1ヶ月程度 | 6 2~6ヶ月未満 | 7 6ヶ月以上 | 8 不明 |

1.4 実施の経緯

「インターンシップ・実習」を実施するきっかけとして最も影響の大きかったものは何ですか。以下の選択肢の中から学校種ごとに一つだけ選択して下さい。

- | | |
|--------------------|--|
| 1 学校からの働きかけがあった | 2 学生からの働きかけがあった |
| 3 行政からの働きかけがあった | 4 経済団体、業界団体、インターンシップに関する仲介機関等からの働きかけがあった |
| 5 自社から学校側に働きかけた | 6 自社が自主的に実施した |
| 7 その他（具体的に： _____） | |

1.5 受け入れ目的

「インターンシップ・実習」の学生を受け入れた主な目的は何ですか。以下の選択肢の中から最も重視したものを学校種ごとに一つだけ選択して下さい。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 社会貢献のため | 2 優秀な生徒・学生の採用につなげるため |
| 3 職場の活性化のため | 4 業務の補助戦力にするため |
| 5 その他（具体的に： _____） | |

1.6 目的の達成度

1.5 でご回答いただいた目的はどの程度達成されましたか。以下の選択肢の中から最も近いものを学校種ごとに一つだけ選択して下さい。

- | | |
|---------------|------------|
| 1 達成できた | 2 ほぼ達成できた |
| 3 あまり達成できなかった | 4 達成できなかった |

1.7 生徒・学生の選抜方法

「インターンシップ・実習」に参加した生徒・学生をどのように選びましたか。以下の選択肢の中から最も近いものを学校種ごとに一つだけ選択して下さい。複数の方法を実施している場合は最も多い人数の多い方法の一つだけ選択して下さい。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 最初から自社で選考している | 2 学校での推薦に基づき、自社でも選考している |
| 3 学校で選考している | 4 その他(具体的に:) |

2 新規学卒者の採用状況と採用方法

次に、貴社における 2012年3月卒の新規学卒者の採用状況、採用方法などについておかがいします。

2.1 新規学卒者の採用の有無

2012年3月卒の専門学校、短期大学、四年制大学、大学院から新規学卒者を採用しましたか。以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 採用した →2.2へ | 2 採用しなかった →2.10へ |
|--------------|------------------|

2.2 新規学卒者の学校種ごとの採用状況

2012年3月卒の新規学卒者を採用した学校種について、以下の選択肢の中から当てはまるものをすべて選択してください。なお、文系・理系の区分がわからない場合は文系を選択してください。

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1 専門学校 | 2 短期大学 | 3 四年制大学(文系) |
| 4 四年制大学(理系) | 5 大学院(文系) | 6 大学院(理系) |

2.3 新規学卒者の学校種ごとの採用者数(正社員及び正社員の移行を前提とした契約社員)(※2.2で回答があった学校種のみ)

2012年3月卒の新規学卒者の採用者数について、選択して下さい。

- | | | | | | | | |
|------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 1~5人 | 6~10人 | 11~15人 | 16~20人 | 21~30人 | 31~50人 | 51~100人 | 101人~不明 |
|------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|

2.4 新規学卒者の人数確保状況(※2.2で回答があった学校種のみ)

2012年3月卒の新規学卒者について、当初予定していた人数を確保できましたか。学校種ごとに以下の選択肢の中から最も近いものを一つだけ選択してください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 確保できた | 2 ほぼ確保できた |
| 3 あまり確保できなかった | 4 ほとんど確保できなかった |

2.5 新規学卒者の質の確保状況(※2.2で回答があった学校種のみ)

2012年3月卒の新規学卒者について、当初予定していたレベルの学生を確保できましたか。学校種ごとに以下の選択肢の中から最も近いものを一つだけ選択してください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 確保できた | 2 ほぼ確保できた |
| 3 あまり確保できなかった | 4 ほとんど確保できなかった |

2.6 新規学卒者の採用にあたって重視している授業外の経験(※2.2で回答があった学校種のうち、大学院は除く)

貴社が新規学卒者を採用するにあたってどのような経験を重視していますか。以下の選択肢の中から、最も重視しているものを一つだけ選択して下さい。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 部活動、サークル活動 | 2 アルバイト経験 |
| 3 「インターンシップ・実習」経験 | 4 ボランティア経験 |
| 5 海外(留学)経験 | 6 資格取得 |
| 7 その他(具体的に: |) 8 特に重視している経験はなし |

2.7 新規学卒者の採用にあたって重視している能力・学力(※2.2で回答があった学校種のうち、大学院は除く)

貴社が新規学卒者を採用するにあたってどのような能力・学力を重視していますか。以下の選択肢の中から、重視しているものを上位3つまで選択して下さい。

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1 基礎学力 | 2 専門知識・技能 | 3 外国語能力 |
| 4 一般常識・マナー | 5 コミュニケーション能力 | 6 プレゼンテーション能力 |
| 7 実行力 | 8 課題解決力 | 9 論理的思考能力 |
| 10 積極性 | 11 主体性 | 12 生活態度 |
| 13 その他(具体的に: | |) |

2.8 実施している能力判断の方法

新規学卒者を採用するにあたって学生の能力をどのような方法により判断していますか。以下の選択肢の中から、当てはまるものをすべて選択して下さい(複数回答可)。

- | | | |
|-----------------------|------------------|-------------|
| 1 履歴書・エントリーシート | 2 適性検査 | 3 筆記試験 |
| 4 グループディスカッション | 5 プレゼンテーション | 6 面接 |
| 7 過去のインターンシップや実習などの経験 | 8 選考過程でのインターンシップ | |
| 9 学校名 | 10 学業成績 | 11 学校や教員の推薦 |
| 12 その他(具体的に: | |) |

2.9 能力判断の容易さ(※2.8で回答した方法のみ)

貴社で実施している能力判断の方法により学生の能力はどの程度把握できますか。方法ごとに最も近いものを一つだけ選択して下さい。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 十分把握できる | 2 ある程度把握できる |
| 3 あまり把握できない | 4 ほとんど把握できない |

2.10 新規学卒者の採用に関する課題

新規学卒者を採用するにあたっての課題は何ですか。以下の選択肢の中から当てはまるものを上位3つまで選択して下さい。

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1 自社への応募者が少ない | |
| 2 自社が求めている能力、技能・資格を有している学生の応募者が少ない | |
| 3 応募者が多すぎる | 4 自社のことをよく知らずに応募する学生が多い |
| 5 採用活動の期間が短すぎる | 6 採用活動の期間が長すぎる |
| 7 学生の能力の把握が困難である | 8 内定を出しても辞退者が多い |
| 9 採用してもすぐに退職してしまう | 10 その他(具体的に: |
| |) |

3. 「インターンシップ・実習」やアルバイトと新規学卒者の採用の関係について

次に、「インターンシップ・実習」やアルバイトと新規学卒者の採用の関係についてお
うかがいします。最近3～5年間くらいでわかる範囲内でお答え下さい。なお、以下で
は専門学校、短期大学、四年制大学に絞ってご質問します。

3.1 「インターンシップ・実習」参加学生の貴社への応募・エントリー（学生側からのア プローチ）

貴社が実施している「インターンシップ・実習」に参加した学生が貴社の新卒採用に応
募・エントリーしたことがありますか。以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ
選択して下さい。

- | | | |
|---|------------|---------------|
| 1 ある →3.1.1へ | 2 ない →3.2へ | 3 わからない →3.2へ |
| 4 そもそも「インターンシップ・実習」として学生を受け入れていない →3.3へ | | |

3.1.1 採用の有無

3.1でお答えいただいた学生を採用したことがありますか。以下の選択肢の中から当て
はまるものを一つだけ選択して下さい。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 採用したことがある →3.1.2へ | 2 採用したことがない →3.2へ |
| 3 わからない →3.2へ | |

3.1.2 採用人数

採用した人数は何人ですか。全新卒採用者に占める割合について、以下の選択肢の
中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。わからない場合は「不明」を選択
して下さい。

- | | | | | |
|------|--------|---------|-------|----|
| 1%未満 | 1～5%未満 | 5～10%未満 | 10%以上 | 不明 |
|------|--------|---------|-------|----|

3.1.3 採用の決定要因

採用した新規学卒者について、「インターンシップ・実習」の経験が採用の決め手にな
りましたか。以下の選択肢の中から、最も近いものを一つだけ選択してください。

- | |
|--|
| 1 採用の決め手になった |
| 2 採用の決め手にはならなかったが、採用を検討する材料とはなった。 |
| 3 採用を検討する材料とはならなかった（結果的に「インターンシップ・実習」経
験者であっただけである） |
| 4 わからない |

3.2 「インターンシップ・実習」参加学生に対する就職への働きかけ（企業側からのア プローチ）

貴社が実施している「インターンシップ・実習」に参加した学生本人に貴社への就職を
働きかけたことがありますか。以下の選択肢の中から、当てはまるものを一つだけ選択し
て下さい。

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1 ある →3.2.1へ | 2 ない →3.2.4へ | 3 わからない →3.3へ |
|--------------|--------------|---------------|

3.2.1 働きかけた理由

働きかけた理由は何ですか。以下の選択肢の中から、最も近いものを一つだけ選択して下さい。

- | |
|---|
| 1 採用を目的として「インターンシップ・実習」を実施しているわけではないが、当該学生が優秀であったから |
| 2 採用を目的として「インターンシップ・実習」を実施しており、当該学生が優秀であったから |
| 3 「インターンシップ・実習」を実施した現場の強い要望があったから |
| 4 当該学生が自社に就職したいという意思を示したから |
| 5 人手が不足していたから |
| 6 「インターンシップ・実習」を実施した学校と、当該学生に就職を働きかける約束をしていたから |
| 7 その他（具体的に： _____） |

3.2.2 採用の有無

当該学生を実際に採用したことがありますか。以下の選択肢の中から、当てはまるものを一つだけ選択して下さい。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 採用したことがある →3.2.3へ | 2 採用したことがない →3.3へ |
| 3 わからない →3.3へ | |

3.2.3 採用人数

採用した人数は何人ですか。全新卒採用者に占める割合について、以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。わからない場合は「不明」を選択して下さい。

- | | | | | |
|------|--------|---------|-------|----|
| 1%未満 | 1～5%未満 | 5～10%未満 | 10%以上 | 不明 |
|------|--------|---------|-------|----|

3.2.4 働きかけなかった理由

学生に働きかけなかった理由は何ですか。以下の選択肢の中から、最も近いものを一つだけ選択して下さい。

- | |
|----------------------------------|
| 1 採用したいという優秀な学生はいなかったから |
| 2 インターンシップだけでは学生の能力がわからないから |
| 3 学生への就職の働きかけを学校側から禁止されているから |
| 4 学生への就職の働きかけを経営者団体や業界で禁止されているから |
| 5 そもそもインターンシップによる採用は考えていないから |
| 6 その他（具体的に： _____） |

3.3 アルバイト学生の貴社への応募・エントリー（学生側からのアプローチ）

貴社でアルバイトをしている学生が、貴社の新卒採用に応募・エントリーしたことがありますか。以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。

- | | | |
|-------------------------------|------------|---------------|
| 1 ある →3.3.1へ | 2 ない →3.4へ | 3 わからない →3.4へ |
| 4 そもそもアルバイトとして学生を雇用していない →4.へ | | |

3.3.1 学生の採用の有無

3.3でお答えいただいた学生を採用したことがありますか。以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 採用したことがある →3.3.2へ | 2 採用したことがない →3.4へ |
| 3 わからない →3.4へ | |

3.3.2 採用人数

採用した人数は何人ですか。全新卒採用者に占める割合について、以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。わからない場合は「不明」を選択して下さい。

- | | | | | |
|------|--------|---------|-------|----|
| 1%未満 | 1～5%未満 | 5～10%未満 | 10%以上 | 不明 |
|------|--------|---------|-------|----|

3.3.3 採用の決定要因

採用した新規学卒者について、アルバイトの経験が採用の決め手になりましたか。以下の選択肢の中から、最も当てはまるものを一つだけ選択してください。

- | |
|--|
| 1 採用の決め手になった |
| 2 採用の決め手にはならなかったが、採用を検討する材料とはなった。 |
| 3 採用を検討する材料とはならなかった（結果的にアルバイト経験者であっただけである） |
| 4 わからない |

3.4 アルバイト学生に対する就職への働きかけ（企業側からのアプローチ）

貴社でアルバイトをしている学生に、そのまま貴社に正社員として就職するよう働きかけたことがありますか。以下の選択肢の中から、当てはまるものを一つだけ選択して下さい。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1 ある →3.4.1へ | 2 ない →3.4.4へ | 3 わからない →4へ |
|--------------|--------------|-------------|

3.4.1 働きかけた理由

働きかけた理由は何ですか。以下の選択肢の中から、最も近いものを一つだけ選択して下さい。

- | | |
|---|--------------------|
| 1 正社員としての採用を目的としてアルバイトを雇用しているわけではないが、当該学生が非常に優秀であったから | |
| 2 正社員としての採用を目的としてアルバイトを雇用しており、当該学生が非常に優秀であったから | |
| 3 アルバイトを雇用している現場の強い要望があったから | |
| 4 その学生が自社に就職したいという意思を示したから | |
| 5 人手が不足していたから | 6 その他（具体的に： _____） |

3.4.2 採用の有無

当該学生を採用したことがありますか。以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 採用したことがある →3.4.3へ | 2 採用したことがない →4へ |
| 3 わからない →4へ | |

3.4.3 採用人数

採用した人数は何人ですか。全新卒採用者に占める割合について、以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。わからない場合は「不明」を選択して下さい。

1%未満	1～5%未満	5～10%未満	10%以上	不明	→5へ
------	--------	---------	-------	----	-----

3.4.4 働きかけなかった理由

働きかけなかった理由は何ですか。以下の選択肢の中から、最も近いものを一つだけ選択して下さい。

1 採用したいという優秀な学生はいなかったから
2 アルバイトだけでは学生・生徒の能力がわからないから
3 そもそもアルバイトからの採用は考えていないから
4 その他（具体的に： _____)

4. 「インターンシップ・実習」を採用に結びつけることに対する考え方

次に、「インターンシップ・実習」を新卒採用に結びつけることについての考え方を教えてください。現時点での個人的なご意見でも結構です。

4.1 「インターンシップ・実習」を採用に結びつけることに対する基本的考え方

あなたは、「インターンシップや実習」を新規学卒者の採用に結びつけることについて、どのように考えますか。以下の選択肢の中からあなたの考えに最も近いものを一つだけ選択して下さい。

1 賛成 →4.1.1	2 どちらかといえば賛成 →4.1.1
3 どちらかといえば反対 →4.1.2	4 反対 →4.1.2
5 わからない →4.2	

4.1.1 賛成理由

賛成する理由は何ですか。以下の選択肢の中から特に強く思うものを3つまで選択して下さい。

1 従来の採用活動よりも「インターンシップ・実習」の方が学生の能力を把握しやすいから
2 採用と結びつけることによって学生も真剣に「インターンシップ・実習」に取り組むようになるから
3 採用と結びつけることによって「インターンシップ・実習」に参加する学生が増えるから
4 採用と結びつけることによって企業も真剣に「インターンシップ・実習」に取り組むようになるから
5 採用と結びつけることによって「インターンシップ・実習」を実施する企業等が増えるから
6 学生に自社の本当の姿を知ってもらうことができるから
7 自社が求めている能力、技能、資格を有する学生が応募するようになるから
8 早くから採用活動に取り組むことができるから
9 自社への就職希望学生の応募が増えるから
10 その他（具体的に： _____)

(→4.2.へ)

4.1.2 反対理由

反対する理由は何ですか。以下の選択肢の中から特に強く思うものを3つまで選択して下さい。

- 1 「インターンシップ・実習」では学生の能力を把握することはできないから
- 2 「インターンシップ・実習」を実施できる人数には限りがあり、その中から採用者を選考するのは困難であるから
- 3 採用活動の時期が早くなってしまうから
- 4 学生の「インターンシップ・実習」の希望先が特定の企業等に集中してしまうから
- 5 学生や学校からの「インターンシップ・実習」の応募が多くなり、対応が困難になるから
- 6 他企業との関係で採用が不利になるから
- 7 新規採用の応募者数が減少してしまうから
- 8 「インターンシップ・実習」に参加できない学生が不利になってしまうから
- 9 担当者の負担が大きくなってしまうから
- 10 「インターンシップ・実習」はそもそも採用を目的として実施しているわけではないから
- 11 「インターンシップ・実習」に参加する学生の選考を学校側が行っており、自社が学生を選考できないから
- 12 その他（具体的に： _____）

（→4.2.へ）

4.2 検討すべき課題

「インターンシップ・実習」を採用と結びつける場合、検討すべき課題としてどのようなものがあるとお考えですか。以下の選択肢の中からあなたのお考えに当てはまるものをすべて選択して下さい（複数回答可）。

- 1 「インターンシップ・実習」の期間 →4.2.1 へ
- 2 「インターンシップ・実習」の実施時期 →4.2.2 へ
- 3 「インターンシップ・実習」のプログラム内容
- 4 「インターンシップ・実習」のあり方を含めた教育体系
- 5 「インターンシップ・実習」参加学生に対する報酬の支払い
- 6 「インターンシップ・実習」参加学生の労働者としての位置付け
- 7 「インターンシップ・実習」後に自社に就職してくれるという前提条件
- 8 「インターンシップ・実習」の実施に際しての、受入企業側による学生の選考
- 9 「インターンシップ・実習」や採用活動に関する自社内の制度・ルールの明確化
- 10 「インターンシップ・実習」を実施するにあたっての行政から企業への金銭的な補助
- 11 「インターンシップ・実習」や就職活動に関する行政の指針や指導
- 12 「インターンシップ・実習」や就職活動に関する経済団体等の指針
- 13 「インターンシップ・実習」や就職活動に関する日本全体の制度・ルールの明確化
- 14 「インターンシップ・実習」や就職活動に関する教育機関との協力関係の見直し
- 15 就職活動の時期の見直し
- 16 大学の修業年限の柔軟化
- 17 その他（具体的に： _____）
- 18 検討すべき課題はない

4.2.1 必要な期間（※4.2で1を回答した者のみ）

「インターンシップ・実習」を新卒採用に結びつける場合、どのくらいの期間が必要ですか。以下の選択肢の中からあなたのお考えに最も近いものを一つだけ選択して下さい。

1 2週間程度	2 1ヶ月程度	3 2～3ヶ月程度
4 半年程度	5 1年程度	

4.2.2 適切な実施時期（※4.2で2を回答した者のみ）

「インターンシップ・実習」を新卒採用に結びつける場合、実施時期はいつ頃が適切ですか。四年制大学の場合を例に、以下の選択肢の中からあなたのお考えに最も近いものを一つだけ選択して下さい。

1 1年生	2 2年生	3 3年生になる春休み頃
4 3年生前半	5 3年生の夏休み頃	6 3年生の後半
7 4年生になる春休み頃	8 4年生前半	9 4年生の夏休み頃
10 4年生の後半	11 その他（具体的に：_____）	

5. 最後に、貴社の概要についておうかがいたします。

5.1 貴社の従業員数

貴社の従業員数（正社員のみ）について、以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。

1 ～29人	2 30～99人	3 100～299人	4 300～499人
5 500～999人	6 1,000～2,999人	7 3,000人～	

5.2 貴社の業種

貴社の業種について、以下の選択肢の中から当てはまるものを一つだけ選択して下さい。

1 農業、林業、漁業	2 鉱業、採石業、砂利採取業	3 建設業
4 製造業	5 電気・ガス・熱供給・水道業	6 情報通信業
7 運輸業、郵便業	8 卸売業、小売業	9 金融業、保険業
10 不動産業、物品賃貸業		
11 学術研究、専門・技術サービス業〔法律事務所、経営コンサルタント業、広告業など〕		
12 宿泊業、飲食サービス業		
13 生活関連サービス業、娯楽業〔理容業、美容業、旅行業、映画館、スポーツ施設提供業など〕		
14 教育、学習支援業〔学習塾、外国語会話教授業など〕		
15 医療、福祉〔病院、保健所、福祉事務所、老人福祉・介護事業など〕		
16 複合サービス事業〔協同組合など〕		
17 サービス業（他に分類されないもの）〔廃棄物処理業、自動車整備業、職業紹介・労働者派遣業、警備業、経済団体など〕		
18 その他（具体的に：_____）		

5.3 本社・本部所在地

貴社の本社・本部の所在地を選択して下さい。

(_____) 都・道・府・県

5.4 貴社の設立年

貴社の設立年を選択して下さい。(※プルダウン)

西暦 () 年

5.5 業種・業界全体における従業員の過剰感、不足感

業種・業界全体における従業員の過剰感、不足感について、どのようにお感じですか。以下の選択肢の中から最も近いものを一つだけ選択して下さい。

1 かなり不足している	2 やや不足している	3 ほぼ適切
4 やや過剰である	5 かなり過剰である	

5.6 貴社における従業員の過剰感、不足感

貴社における従業員の過剰感、不足感について、どのようにお感じですか。以下の選択肢の中から最も近いものを一つだけ選択して下さい。

1 かなり不足している	2 やや不足している	3 ほぼ適切
4 やや過剰である	5 かなり過剰である	

5.7 大卒の新規学卒者の実質的な採用権限

大卒の新規学卒者の実質的な採用権限はどこにありますか。以下の選択肢の中から最も近いものを一つだけ選択して下さい。

1 本社・本部に近い
2 本社・本部と各事業所・部門はほぼ同程度
3 各事業所・部門に近い

5.8 回答者

本アンケートは匿名でお願いをしていますが、今後の研究に際して、より深い分析・検討が必要であると考えております。今後、より詳細な内容をお聞きすることが可能であれば、以下に企業名、本社・本部所在地・所属・役職・記入者名・連絡先を記入願います。本欄に記入いただいても貴社名を外部に公開することは一切ございません。

企業名	()
所属	()
役職	()
記入者名	()
連絡先電話番号	()
連絡先メールアドレス	()

学生の採用やインターンシップ・実習についてご意見、ご感想等がありましたらご記入下さい。

--

ご回答をいただき、ありがとうございました。